

特別展

西郷南洲翁が

敬慕した偉人たち



上原熊次作 白薩摩 西郷南洲翁像
鮫島白鶴書

《開催のご挨拶》

日本で最も多くの書籍が出版されている歴史上の人物は西郷南洲翁と思われます。卓越した功績と魅力的な人間性を具えているからこそ考えられますが、それらは南洲翁の素質や生まれ持った能力だけで形成されたものでしょうか。南洲翁遺訓に「古より君臣共に己れを足れりとする世に、治功の上りたるはあらず。自分を足れりとせざるより、下々の言も聴き入るるもの也。」とあります。人は周囲の環境の中で錬磨されるのであって、南洲翁も周りの優れた人材によって育まれました。この特別展では西郷南洲翁の国家観・政治信条・思想の形成に大きな影響を与えた偉人たちを取り上げ展示します。どうぞご観覧ください。

令和4年 4月29日 金 - 8月31日 水 会場: 鹿児島市西郷南洲顕彰館

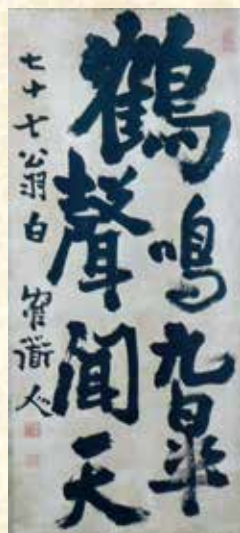
I. 武の屋敷の南洲翁居室



石川静正筆「武村の西郷屋敷」(複製)



石川静正筆「武村の西郷屋敷」



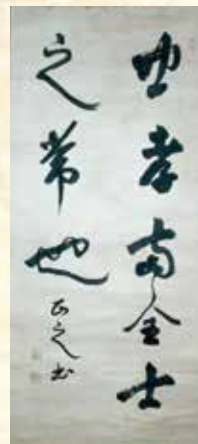
鯨島白鶴書

石川静正の『薩摩紀行』によると、武村の屋敷内には四方の壁にワシントン、ナポレオン、ペートル、ネルソン四人の額がかけられ、床の間には白鶴と落款のある書幅の他は飾り物等なく、机の上には硯やハンコ等が載せてあり…と記されている。

II. 同時代を生きた偉人たち



島津斉彬公筆「牡丹之図」



高山彦九郎書

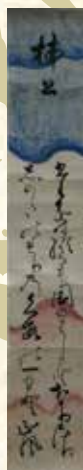
III. 伝説となって語り継がれる偉人



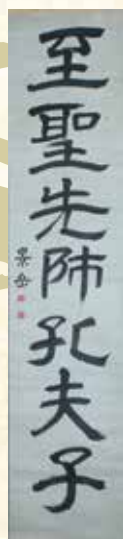
菅原道真公縁起六曲一雙屏風



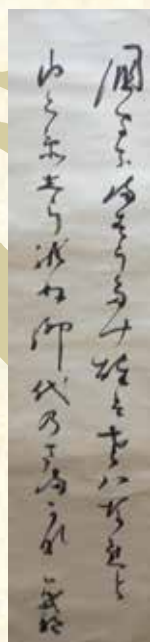
久邇宮朝彦親王和歌「湊川懷古」



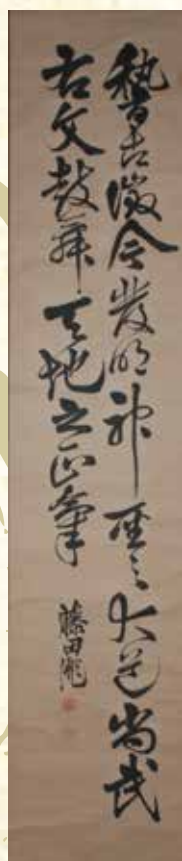
高崎正風和歌「楠公」



橋本左内書



勝海舟和歌



藤田東湖書



迫田太次右衛門墓碑

※資料保護のため、期間中に展示替え・展示箇所替えを行います。

特別展
講演会
【14:00~15:30】

- 6月 4日(土) 徳永 和喜 館長 「有馬新七について」
- 7月 16日(土) 松尾 英行 氏 「宮之城と楠木正成」

鹿児島市
西郷南洲顕彰館

- 住所：鹿児島市上竜尾町 2-1
- TEL：099-247-1100
- 開館時間：午前 9 時～午後 5 時 (入館は午後 4 時 40 分まで)
- 入館料：一般 200 円、小・中学生 100 円、団体 20 名以上 2 割引
- 休館日：毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)